



## 高梁市ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化を起因とする気候変動の影響は深刻なものとなっています。猛暑や集中豪雨等による自然災害が激甚化、頻発化しており、平成30年7月に発生した西日本豪雨では、本市においても甚大な被害が発生し、市民生活に大きな影響をもたらしました。気候変動が誘発する自然災害は本市にとって脅威となっています。

IPCC (国連の気候変動に関する政府間パネル)の特別報告書では、「世界全体の平均気温上昇を、2℃を十分に下回り、1.5℃の水準に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることが必要」と示され、我が国においても、2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す宣言がなされ、各地において達成に向けた取り組みが行われています。

本市では、「いつまでも暮らしたい 自然 歴史 風情のあるまち高梁 ～地域資源を守り育てる持続可能なまちづくり～」を望ましい環境像とした第2次高梁市環境基本計画を本年3月に策定しました。

先人たちにより守り育まれてきた豊かな自然、悠久の歴史、風情のある町並みをよりよい形で次世代に継承していくため、市民、事業者の皆さま、行政が協働して「脱炭素」をはじめとする環境分野の課題に取り組まなければなりません。

特に「脱炭素」の推進は最重要課題と捉え、徹底した省エネルギーの推進、地域特性を活かした再生可能エネルギーの導入、3Rの推進によるごみの減量化、森林資源の保全、ライフスタイル・ビジネススタイルの転換等を推進していくことにより、持続可能な開発目標 (SDGs) の達成にも貢献していきます。

高梁市は、市民、事業者の皆さまと共に、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すことをここに宣言します。

令和4年6月15日

高梁市長 近藤隆則



## カーボンニュートラルに向けた取組

いつまでも暮らしたい 自然 歴史 風情のあるまち高梁  
～地域資源を守り育てる持続可能なまちづくり～

第2次高梁市環境基本計画に掲げた取組を実践していくことで、カーボンニュートラルを目指すとともに、SDGsの達成にも貢献していきます。

### 【主な取り組み】

#### 省エネルギーの推進

公共施設の新築・増改築や施設内の設備更新の際には、省エネルギー設備を率先的に導入し、その導入効果を情報提供することによって、市民・事業者への普及促進を図ります。

#### 再生可能エネルギーの導入推進

太陽光発電設備等の再生可能エネルギー設備を公共施設に率先的に導入し、その導入効果を情報提供することによって、市民や事業者への普及促進を図ります。

#### 3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進

ごみ処理にともない排出される温室効果ガスの抑制を図るため、ごみの排出抑制（リデュース）・再使用（リユース）・再資源化（リサイクル）を推進していきます。

#### 森林資源の保全

温室効果ガスの吸収源となる、本市の豊かな森林資源の適正な管理につながる取組を行い、自然環境の保全を図ります。

#### 脱炭素ライフスタイル・ビジネススタイルの定着推進

地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動「COOL CHOICE（賢い選択）」の普及啓発を図り、市民・事業者が自ら積極的に行動できるよう促すことで、脱炭素社会の実現に向けた行動の輪を市内に広げます。